

To the Next Goal!

ニッタモールド・ファイネット
ニュースレター
Vol.10 25/8/2002



今年の夏は、久しぶりに暑い夏となりました。

各工場内の室温も空調設備の限界を超えて上昇、希望ヶ丘工場ではとうとうエアコンが壊れてしまい、交換までの間は、暑い中での作業が続きました。水口工場でも、7月後半から8月にかけて、工場内の室温が外気温よりも高いのではないかと、という日々でした。まだしばらくは残暑も続きそうですが、体調に気をつけて過ごしたいものです。

さて、暑い中での作業に於いて気をつけないといけないことは何でしょうか？ 注意力、集中力の欠如による作業の失敗、ケガ、検査での不良見逃しなどがあげられるでしょう。

もう一つは、気持ちのダレによる、詰めの甘い作業です。決められた手順が10段階あったとして、9つめまでは大丈夫。でもあと一つ、たいしたことではないから、と抜かしてしまう。慣れた作業だから、簡単、と手順を確認せずに検査をしてしまう。じつはこれが大きな不良流出の原因になります。また事故やケガにもつながります。

始業時、作業のルール、手順、品質基準などを再確認し、きちんと守る！という意志をもって一日を始めてください。

あと一步、詰めの固い仕事をお願いします。

(茂呂)

希望ヶ丘工場クリーンブース設置

より清潔な環境を必要とする

製品の加工、検査のために、クリーンブースを設置しました。内部に埃が入らないよう、仕切りのカーテンは天井部が二重になっています。またクリーンルーム内では専用の帽子、作業服を身につけ、靴を履き替えて作業を行います。

7月後半には、新しい仕事の立ち上げもありました。機械の配置、作業手順など、相手先担当者も交えて相談、工夫をしながら、製品の出荷までたどり着きました。



クリーンブース天井付近



クリーンルーム内作業風景

希望ヶ丘のみなさん、お盆休み返上での交代勤務、お疲れ様でした。

水口工場で、ある成形品に工程不良が多発しました。検査で見落とされた製品が流出し、納入先で大きな問題となっています。相手先にて、対策会議が開かれ、その後、社内でもミーティングを行い、以下のような問題点の指摘と対策の提案がされました。

問題点①

工程内データが活用されていない。

工程内データ(発生不良数や形状などについて)は記録されている。しかし、活用されていない。

今後・・・データの活用。分析し、不良が多ければその原因を究明し、対策を行う。

問題点②

徹底的な原因究明と対策が行われていない。

今回の不良品多発は乾燥機の部品の故障だった。これは過去にも一度おきており、その際に原因を最後まで追究せずに終わったことが今回の再発につながった。

今後・・・その場限りの対策、出荷検査に頼った仕事ではなく、問題を根本から解決。「不良成形品は発生させない！」という意識をもつ。

データを生かし、工程不良をなくそう！

(^v^) Smile! (^v^) Smile! (^v^) Smile! (^v^) Smile! (^v^) Smile! (^v^)
ファイネットよりB社へ勤務中の小川さん、水口工場勤務の山口さんのエッセイです！

今、中三の長男が学校へ行けない、いわゆる不登校の状態です。

中二の後半から、月のうち10日ほど休んでいたのですが、今年の4月の始業式の日から行かなくなりました。アトピーがひどく、夜寝られない、朝しんどくて微熱がある。(病院で自律性の低血圧と病名をもらいました) 昼過ぎになると元気になってテレビを見てゲームをして時間を過ごす、その繰り返しでした。「何で学校行かへんの!!」「ゲームする元気あったら学校行きなさい!!」と毎朝何も言わない彼に私のイライラをぶつけていました。

行きたいと言っていた修学旅行の日、間に合うように用意はできたものの「やっぱり行かへん」と言って玄関に座りこんでしまいました。友達、担任の先生、二年生のときの担任の先生と何回も「八時に京都駅に来てくれたら間に合うし、ぎりぎりまで待ってるから」と電話をもらったものの、結局行けませんでした。

「僕、心は行きたいねんけど、体が行けへんねん。行かへんのやなくて、行けへんねん」という彼の涙ながらの訴えに、一番苦しんでるのは彼なんやと初めて気付きました。せめて高校を卒業して就職してそれが当たり前のように考えて、中学校も行かずに、この先、どうやって生きていけるのか、親の心配以上に彼は不安だったのでしょう。考えずにすむよう、ゲームをしたり、テレビを見て時を過ごしていたようです。

いじめもなく、友達もたくさんいて、学校へ行けない理由は彼にもわからないようです。今はまだ、学校へ行っていない罪悪感から一人で外へ出られません。週に三日家庭訪問して下さる担任の先生に感謝しつつ「学校行かんでもええんちゃうん!!他にも生き方あるんちゃうん!!」と前向きに生きていけるバイタリティを身につけて、やりたいこと見つけてもらいたくて、週末に外に連れ出して、いろいろ体験しています。ついでに親も楽しんでいます。(ちなみに今は、釣りにハマって、真っ黒に日焼けしています)

長い人生から見ればほんの短い期間、ちょっと休憩中(充電中)の彼です。

(小川)

(^v^) Smile! (^v^) Smile! (^v^) Smile! (^v^) Smile!

花がスキ! 山がスキ!

7月26～28日、主人と北アルプスの常念岳(2,857m)、大天井岳(2,922m)、燕岳(2,763m)を絶好の天気の中、縦走してきました。まさに中高年の登山です。山道ですれ違う人々と、こんにちは・ガンバッテ・ありがとう、と声を掛け合い山頂を目指します。コマクサ・イワギキョウ・ハクサンフウロクなどの可愛い花が登りのつらさを忘れさせてくれます。



コマクサ

山頂は青空にくっきりと槍ヶ岳・穂高岳・乗鞍岳・遠くに富士山と360度の大パノラマ。山小屋に着くとザックを放り投げ一杯の生ビール、これ最高!

82歳の元気なおじいさん、話が途切れることのないおばちゃんグループ、背中のザックが20～30kgはありそうな学生さんと、多くの方々とのふれあひも楽しいです。山小屋では21時消灯、一枚の布団に2人が寝



イワギキョウ

ます。すぐ横には見知らぬ人、これも日常では経験しません(これは楽しくありませんが・・・)

登山を始めてまだ3～4年ですが踏破した山のバッジが20個になりました。思い出がいっぱいつまった宝物です。皆さんも機会があればではなく、機会を作って是非チャレンジしてください。

(山口)



常念岳と常念小屋